

施策目標2 グローバルな社会で活躍する人材を育成する

多様化・国際化する変化の激しい社会で生き抜くためには、グローバルな視点をもって豊かな地域社会の創造・発展に積極的に貢献しようとする姿勢が求められます。その姿とは、江戸と今をつなぐまち台東区の歴史や文化伝統に誇りをもち、地域を愛し、人を愛し、行動することであると考えます。

そのために、新たな社会的・経済的価値を生み出すことなど、まちのニーズに応える人材や多文化共生の地域社会で活躍する人材、広い視野をもち国際社会を牽引していく人材など、グローバルな社会で活躍する人材を育成するための取組を推進していきます。

施策の方向

施策の方向5 ころごしを立て将来の夢や理想を実現する人の育成	52 ページ
施策の方向6 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成	55 ページ
施策の方向7 江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成	58 ページ
施策の方向8 社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成	62 ページ

現状の教育課題

国際情勢の不安定化や気候変動など、地球規模の課題に直面する中、多文化共生の進展により、異文化理解と協働する力が不可欠となっています。

このような情勢を踏まえて、施策目標2の実現に向けては、以下のような課題が挙げられます。

第1に、情報収集や自己表現の手段が多様化する中、キャリア教育の充実を通じて、自己理解を深め、ころごしを立てて主体的に学び、自己実現に向けた課題解決に取り組む態度を育成すること。

第2に、子供たちが自らの生き方や働き方を主体的に考え、必要な知識・技能を継続的に学ぶ力を育むとともに、探究的な学びや職業体験、地域との連携を通じて、社会的・職業的自立に向けた態度と能力を育成すること。

第3に、台東区の歴史・文化資源を活用し、地域住民や文化団体との協働による体験的な学びを通じて、子供たちの感性を育むとともに、伝統行事や文化財に触れる機会を通じて、地域への誇りと文化的素養を育成すること。

第4に、デジタル化により広がる社会との接点を生かし、地域課題への理解と多文化共生への意識を高めるとともに、ボランティアや地域行事への参加など地域と学校の協働による人づくりを推進すること。

子供たちの意見



重点事業

令和5年度以降の社会情勢の著しい変化及び「現状の教育課題」並びに「子供たちの意見」を考慮し、本アクションプランにおいて以下を重点事業として取り組みます。

こころざし教育の推進[指導課、教育支援館]

区立小中学校の児童・生徒が、「特別の教科 道徳」等の学習や中学校の立志式等の行事を通して、未来の日本を担うこころざしと意欲をもつことができるよう、こころざし教育を推進します。また、先人の功績や言行等から編纂した児童・生徒副読本「こころざし高く」を配布し、こころざし教育の充実を図ります。

グローバル教育の推進[指導課]

小学校では、体験型英語学習施設(TOKYO GLOBAL GATEWAY)において海外留学を疑似体験することにより、児童の英語活用に関する意欲とコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。

中学校では、夏休み期間を利用した2日間の英語体験学習プログラム(English Summer School)を実施することや英語検定料補助の実施を通じて、生徒の英語活用に関する表現力や技能等を育てます。

また、中学校の代表生徒が海外に短期留学する機会を設定し、これまでの学習や経験により身に付けた英語力を活用・発揮したり、現地校の生徒やその家族と交流したりすることを通して、英語等を活用したコミュニケーション力の向上と外国語の背景にある文化に対する理解の深化を目指します。

各小中学校の総合的な学習の時間や教科等を通じて、自国以外の文化を理解・尊重する態度を育てるとともに、多様な他者と協働してグローバルな社会の形成者としての連帯感や責任感を養います。

進路指導・キャリア教育の充実[指導課]

区立小中学校の特別活動主任、生徒会担当教員等を対象に、児童・生徒の学びや将来設計を支援する「キャリアパスポート」の活用方法や進路指導・キャリア教育の最新情報を学ぶ研修会を実施し、キャリア教育の充実を図ります。

II 施策目標 2 グローバルな社会で活躍する人材を育成する

施策の方向5 こころざしを立て将来の夢や理想を実現する人の育成

子供たちは、大人にとっても将来の見通しをもちにくい現代社会を生きています。

複雑で予測困難な社会であるからこそ、変化を前向きに受け止め、主体的な学びや多様な人々との協働を通じ、その課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと等が求められています。

子供たちがこころざしを立て、自分の将来の夢や理想の実現に向かって可能性に挑戦できるよう、学校園と家庭における日常の指導の充実を図ります。

指標

指標名	令和7年度 現況	令和10年度 目標	出典
「将来の夢や目標を持っていますか」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の割合	小学校 第6学年 79.2% 中学校 第3学年 68.6%	増加	全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問
CEFR A1レベル(英検3級など)相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合(前年度実績)	中学校 第3学年 66.4%	増加	英語教育実施状況調査

施策

- (1)こころざし教育の推進
- (2)グローバルに活躍する人材の育成

5-(1) ことろざし教育の推進

就学前においては、身近な環境に主体的にかかわり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら自立心を育みます。



小中学校においては、各校の道徳の教育方針を基に、「特別の教科 道徳」はもとより、先人の生き方が学べる「ことろざし教育副読本 ことろざし高く」の活用、中学校における立志式の実施などを通して、子供たちが将来の夢や理想を抱いて、主体的に社会に貢献しようとすることろざしを育みます。

《45》ことろざし教育の推進[指導課、教育支援館] ★

区立小中学校の児童・生徒が、「特別の教科 道徳」等の学習や中学校の立志式等の行事を通して、未来の日本を担うことろざしと意欲をもつことができるよう、ことろざし教育を推進します。また、先人の功績や言行等から編纂した児童・生徒副読本「ことろざし高く」を配布し、ことろざし教育の充実を図ります。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
ことろざし教育	全小中学校	全小中学校

《46》地域を学ぶ学習の実施[指導課]

教科等の授業において、区立小中学校の児童・生徒にとって身近な題材や事象を取り上げて考えさせるほか、地域を教材とした学習、地域を場とした学習を通して地域について理解を深めるとともに、地域に対して深い愛着をもてるようにします。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
地域学習の実施	全小中学校	全小中学校

5-(2) グローバルに活躍する人材の育成

英語教育においてALT等と慣れ親しむことや実践的な英語等の語学力を育むとともに、外国人観光客との交流を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育みます。多文化に対する理解と日本人としての自覚と誇りを涵養し、豊かな国際感覚を醸成することで、グローバルに活躍する人材を育成します。



≪47≫グローバル教育の推進[指導課] ★

小学校では、体験型英語学習施設(TOKYO GLOBAL GATEWAY)において海外留学を疑似体験することにより、児童の英語活用に関する意欲とコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。

中学校では、夏休み期間を利用した2日間の英語体験学習プログラム(English Summer School)を実施することや英語検定料補助の実施を通じて、生徒の英語活用に関する表現力や技能等を育てます。

また、中学校の代表生徒が海外に短期留学する機会を設定し、これまでの学習や経験により身に付けた英語力を活用・発揮したり、現地校の生徒やその家族と交流したりすることを通して、英語等を活用したコミュニケーション力の向上と外国語の背景にある文化に対する理解の深化を目指します。

各小中学校の総合的な学習の時間や教科等を通じて、自国以外の文化を理解・尊重する態度を育てるとともに、多様な他者と協働してグローバルな社会の形成者としての連帯感や責任感を養います。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
TOKYO GLOBAL GATEWAYの体験	19校	19校
English Summer Schoolの開催	7校	7校
英語検定料補助	実施	実施
海外短期留学	1回	1回
グローバル教育重点指定校	中学校2校	中学校2校
外国語指導助手派遣	実施	実施

施策の方向6 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成

産業構造が変わると予想されているこれからの社会では、現在ある職業がAI等で代替されたり、今は存在していない新しい職業ができたりして、将来が展望しにくい現状があります。

このような状況の中、社会的・職業的自立を実現するためには、一人ひとりが自己の生き方や働き方について考えを深め、職業生活や日常生活に必要な知識や技能、技術を主体的に身に付けることが一層重要となります。

社会的・職業的自立の基盤となる基礎的・汎用的能力や、生涯にわたり必要な学習を通じて新たな知識や技能、技術を身に付けることでキャリア形成をし、自らの職業人生を切り拓いていく原動力を育成します。

指標

指標名	令和7年度 現況	令和10年度 目標	出典
「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の割合	小学校 第6学年 95.5% 中学校 第3学年 96.4%	増加	全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問
職場見学もしくは職場体験活動を実施した学校の割合	小学校 31.6% 中学校 100%	小学校 増加 中学校 維持	全国学力・学習状況調査 学校質問

施策

- (1) 自己の生き方や働き方を考える教育の推進
- (2) 勤労観・職業観の育成とキャリア形成

6-(1) 自己の生き方や働き方を考える教育の推進

子供たちが社会における自己の立場に応じた様々な役割を果たしつつ、自分らしい生き方を展望し実現できるよう、学校園は発達段階に応じて主体的な選択ができる力の育成に努めます。商店街や企業と連携し職場見学や職業体験などを充実し、自らの生き方や将来の働き方について考える教育を推進します。



《48》進路指導・キャリア教育の充実[指導課] ★

区立小中学校の特別活動主任、生徒会担当教員等を対象に、児童・生徒の学びや将来設計を支援する「キャリアパスポート」の活用方法や進路指導・キャリア教育の最新情報を学ぶ研修会を実施し、キャリア教育の充実を図ります。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
特別活動担当者研修	1回	1回
キャリアパスポートの活用	実施	実施

《49》主体的な中学校選択の機会設定[指導課]

「中学校を見にいこう」の活動を中心として、土曜日に区立中学校が学校公開をし、区立小学校を休みとすることにより、小学生が中学校を参観する機会を設定します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
中学校参観機会の設定	全中学校	全中学校

《50》台東区立中学校選択制度[学務課]

対象の児童及び保護者が進路について家庭で話し合い、自らが希望する学校を選択することによって、積極的に学習し伸び伸びとした学校生活ができるようになります。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
中学校選択制度	全中学校	全中学校

《51》台東区善行青少年表彰[児童・青少年育成課]

青少年指導や環境美化、文化、スポーツへの貢献など他の模範となる行動をとった青少年を表彰し、青少年の健全な育成に対する区民の関心・意識の高揚を図ります。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
善行青少年表彰	1回	1回

《45》こころざし教育の推進(再掲)[指導課]

再掲:施策の方向5-施策1-《45》 53 ページ

《73》ボランティア活動の推進(再掲)[指導課]

再掲:施策の方向8-施策2-《73》 65 ページ

6-(2) 勤労観・職業観の育成とキャリア形成

地域の産業界と連携し起業精神やものづくりの基盤技術に触れる機会を設け、職業の果たす意義や役割についての認識を深めさせる活動を充実させます。将来の就労に向けての意欲を育む教育の充実に努めることで勤労観・職業観の育成とキャリア形成を図ります。



《52》中学生の職業体験[指導課]

区立中学校第2学年生徒が地域の商店や企業、公共施設などの協力を受けて、職場におけるマナーや仕事の進め方の指導・実体験・ミーティング等からなる職業体験を5日間実施し、生徒の望ましい勤労観・職業観を育成します。また、保育所体験では、乳幼児と触れ合うことで、遊びの意義や家庭の役割への理解を深め、家庭生活を向上させる能力と態度を育てます。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
職業体験実施	全中学校	全中学校

《53》企業と連携した中学生への職業講話[指導課]

区立中学校と地元企業等が連携して職業講話の機会を設け、働くことの意義や心構え等について学び、働くことの意欲を高めます。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
職業講話実施	全中学校	全中学校

I 施策目標1 新しい時代に対応する資質・能力を育成する

施策の方向7 江戸で培った歴史や伝統を受け継ぐ豊かな感性の醸成

台東区には江戸で培った豊かな文化や歴史、伝統などがあります。

教育基本法の教育の目標には、「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」ことが謳われています。そこで、江戸で培った台東区の伝統や文化に関する教育の充実を図るとともに、地域住民や芸術・文化団体の参画を得ながら、子供たち自身が地域の伝統行事や文化財などに触れる機会を通して豊かな感性を醸成します。

指標

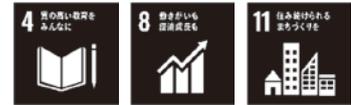
指標名	令和7年度 現況	令和10年度 目標	出典
「前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか」に「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合	小学校 89.5% 中学校 85.7%	増加	全国学力・学習状況調査 学校質問

施策

- (1)文化・芸術を豊かに感じる心の醸成
- (2)郷土の歴史・伝統に対する理解の促進
- (3)地元の文化・芸術に触れ愛着と誇りを育む教育の推進

7-(1) 文化・芸術を豊かに感じる心の醸成

芸術鑑賞や伝統ある芸能に触れる機会の充実を図ります。「上野の山文化ゾーン」や区内に点在する伝統文化施設の活用や大学との連携を進めるなかで、文化・芸術を豊かに感じる心の醸成を図ります。



《54》小中学校連合作品展[指導課]

区立小中学校に通う児童・生徒による図工・美術・家庭・技術・書写などの作品を、東京都美術館等に展示し鑑賞する機会を設け、表現力、創造力の向上及び情操教育の充実を目指します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
連合作品展参加	全小中学校	全小中学校

《55》上野の山文化ゾーンフェスティバル[文化振興課]

上野の山の各文化施設による共同イベントを実施し、日本を代表する文化・芸術の集積地である上野の山の魅力を広く内外にPRします。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
上野の山文化ゾーンフェスティバル	実施	実施

《56》文化施設の活用[文化振興課]

区立文化施設を広く公開することにより、台東区ゆかりの文化・芸術の魅力を発信し、文化に触れる機会の充実を図ります。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
文化施設の活用	実施	実施

《11》子供の文化教育の充実(再掲)[指導課]

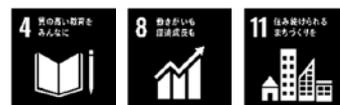
再掲: 施策の方向1-施策5-《11》 [32 ページ](#)

《158》学びのキャンパスプランニング(再掲)[指導課]

再掲: 施策の方向13-施策1-《158》 [101 ページ](#)

7-(2) 郷土の歴史・伝統に対する理解の促進

江戸で培った豊かな文化や歴史について理解を深めるために、「台東区歴史・文化テキスト」の活用、図書館や区施設の郷土資料の活用、地域に点在する江戸創業事業所等との連携を図ります。小中学校では教育活動全体を通じて郷土の歴史・伝統を学ぶ取組を充実させます。



《57》郷土資料の収集・保存・活用[中央図書館]

郷土資料を収集・保存し、活用を図ります。貴重資料についてはデジタル化し、デジタルアーカイブとして公開します。また、郷土・資料調査室の企画展コーナーを拡充し、図書館所蔵の貴重資料等を活用した展示を充実させるとともに、企画展に関連した講座を開催します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
郷土資料の収集・保存・活用	実施	実施

《58》社会科副読本の配付[指導課]

台東区の産業・観光への理解と伝統・文化に対する愛着や誇りを育む授業を充実するため、区立小学校第3学年を対象に、社会科副読本を作成し配付します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
社会科副読本	配布	配布

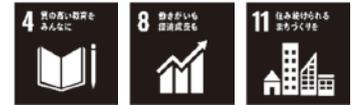
《59》台東区子供歴史・文化検定[生涯学習課]

郷土の歴史・文化の伝承を図り、郷土を愛する心を育むため、区立小学校第5学年に「台東区歴史・文化テキスト」を作成・配付します。また、テキストの理解を深めるため、区立小学校第5学年から中学校第3学年を対象に「台東区子供歴史・文化検定」を実施します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
歴史・文化テキスト	配付・活用	配付・活用
歴史・文化検定	1回	1回

7-(3) 地域の文化・芸術に触れ愛着と誇りを育む教育の推進

地域に伝わる民話や伝承遊びなどに就学前から親しむ取組を進めます。地域の伝統工芸に触れる活動を取り入れ、地域の文化への愛着と誇りを育みます。



《60》台東区の民話と伝承遊びの普及[生涯学習課]

区内の幼稚園・保育園・こども園・小学校を訪問し、区内に伝わる民話や伝説、伝承遊びを子供たちに伝える普及活動を実施することで、生まれ育った郷土をよく知り、愛する心を育成します。また、普及委員の技術向上を図り、普及活動を推進するため、普及委員養成講座を実施します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
普及活動	実施	実施
普及委員養成講座	実施	実施

《61》AVライブラリー[中央図書館]

利用者ニーズに応えつつ、趣味や実用など区民の暮らしに役立つ資料や生涯学習を支援する記録的、教育的価値の高い資料を収集・提供します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
視聴覚資料	収集・提供	収集・提供

《162》多様な主体の参画による学習の展開(再掲)[指導課]

再掲: 施策の方向13-施策1-《162》 [102 ページ](#)

II 施策目標 2 グローバルな社会で活躍する人材を育成する

施策の方向8 社会の発展に貢献する意欲と責任感の育成

地域行事への参加やボランティア活動をはじめ、地域社会との様々なかかわりを通じて、これからの時代に必要な力や、地域への愛着や誇りを子供たちに育むことが必要です。

また、学校と地域の連携・協働体制を構築し、地域が人を育て、人が地域をつくる好循環を実現することが地域の発展の担い手となる人材を育てる観点からも重要です。

そこで、地域との様々な協働を進めていく中で、子供たちには、まちに集う人々との絆を尊重し、まちのニーズに応えるとともに、広い視野をもって国際社会を牽引したり、多文化共生の地域社会や国際社会の発展に貢献しようとする意欲と責任感を育成します。

指標

指標名	令和7年度 現況	令和10年度 目標	出典
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の割合	小学校 第6学年 79.4% 中学校 第3学年 73.4%	増加	全国学力・学習状況調査 学校質問
「学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか」に「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した学校の割合	小学校 89.5% 中学校 85.7%	増加	全国学力・学習状況調査 学校質問

施策

- (1)社会に参画しようとする意欲や態度の育成
- (2)まちや社会の期待に応える人材の養成
- (3)人と人との絆づくりの推進

8-(1) 社会に参画しようとする意欲や態度の育成

法やきまりを守り、進んで義務を果たす意欲や態度を育成します。公共のために尽くす体験や社会生活上でのマナーなどを学ぶことを通して、社会に参画する力を育みます。



《62》子供の権利の普及啓発[こども政策課]NEW

子供や子供に関わり得るすべての大人が、それぞれの生活・活動の中で、子供の権利を大切にすることができるよう、子供の権利に関する普及啓発を実施します。令和9年3月に「(仮称)こどもの権利条例」を制定するほか、子供が安心して意見を述べることができる機会の確保や意見を持つための支援に取り組み、子供の社会参画を促進します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
子供の権利の普及啓発	—	実施
区政運営における子供の参加の促進	—	実施

《63》租税教育の推進[指導課]

区立中学校の生徒の租税教育について、指導のねらい、内容、指導形態を体系化し、租税教室・税に関する作文等の取組を活用します。また、税に関連する授業を充実させ、義務教育最終段階における生徒の社会参画意識を向上させます。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
租税教育	全中学校	全中学校

《64》主権者教育の推進[指導課]

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、区立小中学校の児童・生徒に対し、参政権や政治に関する教育を推進し、児童・生徒の社会参画意識を向上させます。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
主権者教育	全小中学校	全小中学校

《65》選択・判断する力を育てる消費者教育の推進[くらしの相談課]

消費生活に関する知識を習得し、選択・判断する力を育てるため、区立小学校児童向けに「くらしに役立つ講座」を開催します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
夏休み子供教室	実施	実施

II 施策目標2 グローバルな社会で活躍する人材を育成する

《66》資源回収[清掃リサイクル課]

区立小中学校の児童会、生徒会が中心となり、空き缶(スチール、アルミ)、紙パック、ハブラシの回収を自ら実践することにより、環境やごみ減量・リサイクルに対する意識啓発を促進します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
資源回収	実施	実施

《67》小中学校における環境教育の推進[指導課]

区立小中学校において、地域における清掃・美化・リサイクル活動への参加等の体験や実践による教育活動を通じ、環境に対する意識の向上と実践力の育成を図ります。また、区立小学校第4学年においては、清掃施設・ごみ処理施設等で校外学習を行い、ごみ処理の過程を学ぶとともに、資源の有限性とリサイクル活動などの環境問題への関心を高めます。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
清掃・美化・リサイクル活動	実施	実施
清掃施設体験学習	実施	実施

《68》男女共同参画の推進[指導課]

性に関する基礎的・基本的な内容を、児童・生徒の発達段階に応じて正しく理解させ、相手を尊重し、男女ともに協力し合う社会の形成につながる指導を実施・推進します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
男女共同参画につながる指導	実施	実施

8-(2) まちや社会の期待に応える人材の養成

学校園近隣の清掃活動や福祉体験、ボランティア活動、地域行事への参加など、地域と様々な人との協働を通して、人にやさしく、まちに貢献し、まちを支えるような区民の願いと期待に主体的に応える子供の養成に努めます。



《69》大江戸清掃隊[環境課]

まちの美化を図るため、区立小中学校等による自主的な清掃・美化活動を支援し、環境美化意識の啓発につなげます。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
自主的な清掃・美化活動の支援	実施	実施

《70》福祉体験・奉仕活動体験の推進[指導課]

区立小中学校において、人権課題「高齢者」「障害者」に関する児童・生徒の知的理解を深め、人権感覚の高揚を図るとともに、総合的な学習の時間や特別活動などを中心に全教育活動を通して社会貢献の精神を育成し、社会に貢献しようとする意欲を高めます。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
福祉・奉仕活動体験	全小中学校	全小中学校

《71》認知症サポーター養成講座[高齢福祉課]

認知症のある人を温かい目で見守り支援する「認知症サポーター」を、地域の中に養成していきます。子供たちに、早い時期から認知症の正しい知識・対応方法を身に付けさせることにより、認知症に対する偏見や誤解を生じない心を育み、認知症高齢者等が安心して暮らし続けることができる地域を目指します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
認知症サポーター養成講座	一部実施	実施

《72》青少年フェスティバル[児童・青少年育成課]

区内11の青少年育成地区委員会が行う合同事業として、地区委員が補佐をし、区内在学の小中学生、高校生がイベント運営、またステージ発表を行うことによって、青少年の育成を図ります。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
青少年フェスティバル	1回	1回

《73》ボランティア活動の推進[指導課]

区立小中学校の児童・生徒が学校・地域・社会に奉仕するために、児童会・生徒会等が中心となって、地域・社会への奉仕活動を企画・運営したり、自発的に参加したりする活動を推進します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
ボランティア活動	全小中学校	全小中学校

8-(3) 人と人との絆づくりの推進

学校園を中心にして人と人とのネットワークを広げ、地域人材の学習活動への参画を促進するとともに、地域での子供の見守りや地域全体の安全な環境の充実に努めます。



「74」地域との連携による学校、地域の安全教育[指導課]

地域と連携した安全教育を実施することにより、学校が地域の防災拠点として機能していることを児童・生徒に理解させるとともに、地域の一員であるという自覚を促します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
安全教育	全小中学校	全小中学校

「75」世代間交流・地域交流[保育課、指導課]

子供たちが高齢者と触れ合い、高齢者から学ぶことの大切さを知るため、区立幼稚園・保育園・石浜橋場こども園・小学校の園児及び児童が地域の高齢者施設を訪問するなど、各種行事を通じて交流を図ります。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
世代間交流	実施	実施

「76」寿作品展示会[健康課]

区立幼稚園・こども園・小学校に、シニアクラブを主体とする区内高齢者の作品展示会への参加を促し、作品を展示することで、世代間の交流を図ります。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
寿作品展示会参加	全幼稚園 全こども園 全小学校	全幼稚園 全こども園 全小学校

「77」学校安全ボランティア[庶務課、指導課]

各区立小学校単位で、保護者と町会などの地域団体が協力してパトロールなどを行うことにより、登下校時の通学路における児童の安全を確保します。

取組	令和7年度 現況	令和10年度 目標
学校安全ボランティア	実施	実施

「52」中学生の職業体験(再掲)[指導課]

再掲: 施策の方向6-施策2-「52」 [57 ページ](#)

